

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第 1 面)

産業廃棄物処理計画書	
平成 3 0 年 月 日	
愛 知 県 知 事 殿	
提出者 住 所 愛知県碧南市浜町 1 番地 氏 名 日新製鋼株式会社 衣浦製造所 衣浦製造所長 米田 信幸	
(法人にあつては、名称及び代表者の名) 電話番号 0566-48-7211	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事 業 場 の 名 称	日新製鋼株式会社衣浦製造所
事 業 場 の 所 在 地	愛知県碧南市浜町 1 番地
計 画 期 間	平成 3 0 年 4 月 1 日～ 3 1 年 3 月 3 1 日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事 業 の 種 類	鉄鋼業
②事 業 の 規 模	製品出荷額 ； 4 6 , 1 4 6 (百万円)
③従 業 員 数	497人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	①鉋さい・・・工場→最終処分場 ②陶磁器くず・・・全所→中間処理 ③廃油・・・全所→中間処理 ④廃プラスチック・・・全所→中間処理 ⑤汚泥・・・冷延工場→中間処理 ⑥木屑・・・全所→中間処理

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 所内、環境管理手順書E M4. 3. 2-01 「産業廃棄物処理計画」による。			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（２９年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	鉍さい(製鋼スラグ)	陶磁器くず
	排 出 量	２１，５９６ t	１３３ t
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック
	排 出 量	３１９ t	３７７ t
	産業廃棄物の種類	汚泥	木屑
	排 出 量	１５８ t	６４ t
	(これまでに実施した取組) 特に無し。		
② 計画	【目標】平成３０年度		
	産業廃棄物の種類	鉍さい(製鋼スラグ)	陶磁器くず
	排 出 量	２５，０００ t	１００ t
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック
	排 出 量	１５０ t	３５０ t
	産業廃棄物の種類	汚泥	木屑
	排 出 量	１５０ t	６０ t
	(今後実施する予定の取組) 特に無し。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特に無し。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特に無し。		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	鉍さい(製鋼スラグ)	陶磁器くず
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特に実施していない。		
② 計画	【目標】平成330年度		
	産業廃棄物の種類	鉍さい(製鋼スラグ)	陶磁器くず
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 特に予定無し。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	鉍さい(製鋼スラグ)	陶磁器くず
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特に実施していない。		
② 計画	【目標】平成30年度		
	産業廃棄物の種類	鉍さい(製鋼スラグ)	陶磁器くず
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 特に予定無し。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	鉍さい(溶融還元炉スラグ)	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】平成30年度		
	産業廃棄物の種類	鉍さい(溶融還元炉スラグ)	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 再生利用率を向上させるため、処理設備の効率向上を図る。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	鉍さい(溶融還元炉スラグ)	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 特に実施していない。		
② 計画	【目標】平成30年度		
	産業廃棄物の種類	鉍さい(溶融還元炉スラグ)	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 特に予定無し。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
	①現状	【前年度（ 年度）実績】		
		産業廃棄物の種類		
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
		(これまでに実施した取組) 実施していない。		
	②計画	【目標】		
産業廃棄物の種類				
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		t	t	
(今後実施する予定の取組) 予定無し。				
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
	① 現状	【前年度（29年度）実績】		
		産業廃棄物の種類	鉾さい(製鋼スラグ)	陶磁器くず
		全処理委託量	21,596 t	133 t
		優良認定処理業者への処理委託量	21,596 t	5 t
		再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
		認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
		上記以外の種類は、別紙1-1、別紙1-2参照 (これまでに実施した取組) ・ 可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減をはかる。		

② 計画	【目標】平成30年度		
	産業廃棄物の種類	鉾さい(製鋼スラグ)	陶磁器くず
	全処理委託量	25,000 t	100 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	25,000 t	10 t
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	上記以外の種類は、別紙2-1、別紙2-2参照 (今後実施する予定の取組)		
	※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙 1-1

① 現状	【前年度（２９年度）実績】			
	産業廃棄物の種類		廃油	廃プラスチック
	全 処 理 委 託 量		３１９ t	３７７ t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		２１５ t	１３４ t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量		１０３ t	１３ t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		０ t	０ t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		０ t	０ t
	産業廃棄物の種類		汚泥	木屑
	全 処 理 委 託 量		１５８ t	６４ t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		１５８ t	６４ t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量		０ t	６４ t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		０ t	０ t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		０ t	０ t

別紙 2-1

② 計画	【目標】平成30年度			
	産業廃棄物の種類		廃油	廃プラスチック
	全処 理 委 託 量		150 t	350 t
		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	50 t	100 t
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	100 t	10 t
		認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類		汚泥	木屑
	全処 理 委 託 量		150 t	60 t
		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	150 t	60 t
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	0 t	60 t
		認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t

別紙 1-2

① 現状	【前年度（29年度）実績】			
	産業廃棄物の種類		鉋さい （溶融還元炉スラグ）	水銀使用製品 （蛍光灯、水銀灯等）
	全 処 理 委 託 量		2, 4 4 2 t	0. 2 3 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		2, 4 4 2 t	0 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量		0 t	0 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		0 t	0 t
	産業廃棄物の種類			
	全 処 理 委 託 量			
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量			
	再生利用業者への 処 理 委 託 量			
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量			
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量			

別紙2-2

② 計画	【目標】平成30年度		
	産業廃棄物の種類		鉋さい (溶融還元炉スラグ) 水銀使用製品 (蛍光灯、水銀灯等)
	全処理委託量		5,000 t 0.1 t
		優良認定処理業者への 処理委託量	5,000 t 0 t
		再生利用業者への 処理委託量	0 t 0 t
		認定熱回収業者への 処理委託量	0 t 0 t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t 0 t
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量		
		優良認定処理業者への 処理委託量	
		再生利用業者への 処理委託量	
		認定熱回収業者への 処理委託量	
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	鉋さい (溶融還元炉スラグ)	水銀使用製品 (蛍光灯、水銀灯等)
	排出量	2, 4 4 2 t	0. 2 3 t
	産業廃棄物の種類		
	排出量		
	産業廃棄物の種類		
	排出量		
	特に無し		
② 計画	【目標】平成30年度		
	産業廃棄物の種類	鉋さい (溶融還元炉スラグ)	水銀使用製品 (蛍光灯、水銀灯等)
	排出量	5, 0 0 0 t	0. 1 t
	産業廃棄物の種類		
	排出量		
	産業廃棄物の種類		
	排出量		
	(今後実施する予定の取組) 特に無し。		